

食事／着脱衣

食事	<p>●食形態等</p> <p>食形態 : ペースト・きざみ食・一口大・普通食・その他（ ）</p> <p>自分で使える道具 : 箸・スプーン・フォーク・その他（ ）</p> <p>介助の必要 : 自分で食べる・少し手伝ってほしい・食べさせてほしい</p>
	<p>●好きな食べ物</p> <p>好きな食べ物（食材、メニュー、ご褒美に使える好きなお菓子など）</p>
	<p>●嫌いな食べ物、食べてはいけない物</p> <p>嫌いな食べ物（食材、メニュー、家では食べられるが場所や場面が変わると食べられないものなど）</p>
	<p>食べてはいけない物（食物アレルギーの有無・食材など）</p>
	<p>●外食</p> <p>外食時に選びやすいメニュー、メニューの選び方</p> <p>入りやすい店</p>
	<p>●その他注意してほしいこと、支援してほしいこと</p> <p>（食べ方の様子、好きな場所、食事のマナー、食事の終わりをどう伝えるかなど）</p>
着脱衣	<p>●衣服の着脱</p> <p>衣服の着脱 : ひとりできる・少し手伝ってほしい・手伝ってほしい</p> <p>衣服の選択 : ひとりできる・少し手伝ってほしい・手伝ってほしい</p> <p>衣服の調節 : 自分で調節できる・声をかけてほしい</p>
	<p>●その他注意してほしいこと、支援してほしいこと（衣服のこだわり、着る順番など）</p>

排泄／睡眠	
排泄	<p>●排尿</p> <p>排尿：ひとりのできる・少し手伝ってほしい・手伝ってほしい 予告：自分で予告する・誘ってほしい 排尿のリズム： 時間毎 オムツ等の使用： 有 ・ 無 具体的な支援方法</p>
	<p>●排便</p> <p>排便：ひとりのできる・少し手伝ってほしい・手伝ってほしい 予告：自分で予告する・誘ってほしい 排便のリズム： 時間毎 オムツ等の使用： 有 ・ 無 具体的な支援方法</p>
	<p>●その他注意をしてほしいこと、支援してほしいこと</p>
睡眠	<p>●睡眠</p> <p>就寝時刻： 時 分頃 起床時刻： 時 分頃 睡眠時間：約 時間</p> <p>夜起きる、夜泣き、夜尿起こしなど</p>
	<p>●寝具へのこだわり</p> <p>寝具へのこだわり：こだわりがとてもある・少しある・ほとんどない</p>
	<p>●寝るときの癖など （本を読む、何か持って寝る、添い寝が必要あるいはない方がよいなど）</p>
	<p>●朝の目覚め方 （静かに起こされる方がよいなど起きる際に配慮してほしいことなど）</p>

身だしなみ／遊び・趣味

身だしなみ	●入浴
	入浴のとき：ひとりで入れる・見守りが必要・少し手伝ってほしい・全部手伝ってほしい 支援方法
	●洗面・歯磨き
	洗面のとき：ひとりでできる・見守りが必要・少し手伝ってほしい・全部手伝ってほしい 歯磨きのとき：ひとりでできる・見守りが必要・少し手伝ってほしい・全部手伝ってほしい 支援方法
	●爪切り
爪切りのとき：ひとりでできる・見守りが必要・少し手伝ってほしい・全部手伝ってほしい 支援方法	
●生理の手当て	
開始時期 才 月 日頃 周期・日数 おおよそ 日周期 ・ 不順 その他（生理痛・量・生理用品など） 生理のとき：ひとりでできる・見守りが必要・少し手伝ってほしい・全部手伝ってほしい 支援方法	
●その他：散髪・髭剃り・化粧など	
遊び・趣味など	●余暇の過ごし方、好きな遊び
	家の外での遊びの様子（遊びの内容、公園遊具や道具の使用、ひとりで遊ぶこと、ポーリング等の靴のサイズなど）
	家の中での遊びの様子（遊びの内容、道具の使用、ひとりで遊ぶことなど）
	好きなことについて（好きなこと、好きなもの、興味のあることなど） 嫌いなことについて（嫌いなこと、嫌いなもの） 支援方法

移動／感覚

移動	<p>●移動等</p> <p>移動の様子（初めての場所に行くとき，路を歩くときなどの様子）</p> <p>交通機関の利用（交通機関を利用するときの注意点など）</p> <p>通学：ひとりでできる・友だちや兄弟姉妹と一緒にできる・おとなが付き添う</p>
	<p>●その他注意してほしいこと，支援してほしいこと</p>
	<p>●感覚面の特性，留意すること</p> <p>具体的な様子（音，見えるもの，感触，匂い，味，運動，触れること（好き・嫌い，触れられる部位）など）</p>
感覚	

人との関わり／コミュニケーション

人との関わり・集団の中で	●大人との関係
	好きなタイプの人
	苦手なタイプの人
	知らない人（極端に怖がる、知らない人でも平気で話しかけていくなど）
	●同年齢の子どもとの関係
	好きなタイプの人
	苦手なタイプの人
	●集団での様子（学校・地域活動での様子など）
	●社会性
	社会のルールに関する理解
支援方法	
コミュニケーション	●理解の仕方
	理解の様子：言葉で言う・文字で書く・絵や写真があると分かりやすい・マカトンサインなどのサインやジェスチャー・使用する具体物を見せる
	支援方法
	●表現の仕方
	表現の様子：発語無し・要求言語は言える・2、3語文は話せる・会話ができる
意思を伝える方法：単語で伝える・紙に書く・写真や絵カードを見せる・ジェスチャーを使う	
困ったとき、援助が求められますか：はい・いいえ	
わからないことを質問することができますか：はい・いいえ	
支援方法	

こだわり／パニック

こ だ わ り	<p>●こだわっていること・物、癖</p> <p>具体的な様子（物を並べる、順番にこだわる、時間どおりでない気がすまない、手をヒラヒラさせる、ピョンピョン跳ぶ、いつも同じことを言う（口癖）など）</p> <p>対処法（それに対する配慮）</p>
	<p>●安全上の注意点（靴をなめる、草・木を食べる、水に飛び込む、道路に飛び出すなど、安全上、特に配慮してほしいこと）</p>
パ ニ ック	<p>●ちょっとイライラしているかな？というとき、不安なとき</p> <p>具体的な様子（不安やイライラすると現れる行動）</p> <p>考えられること（どんなときにそうなるのか考えられること）</p> <p>対処法（そのとき支援者がしたら良いこと、してはいけないこと）</p>
	<p>●パニック</p> <p>具体的な様子（大声を出す、暴れる、動かなくなる、極度にボーッとしているなど）</p> <p>考えられること（どのような場面、状態になるとパニックが起きやすいか考えられること）</p> <p>前兆（パニックを起こす前にする行動について）</p> <p>対処法（そのとき支援者がしたら良いこと、してはいけないこと、落ち着く場所や方法など）</p> <p>日常的なパニックの頻度（日ごろ家庭でパニックを起こしている割合）</p>

記入日（ 年 月 日）

日常生活

	生活のリズム（ 曜日）	生活のリズム（ 曜日）	
0時			0時
1時			1時
2時			2時
3時			3時
4時			4時
5時			5時
6時			6時
7時			7時
8時			8時
9時			9時
10時			10時
11時			11時
12時			12時
13時			13時
14時			14時
15時			15時
16時			16時
17時			17時
18時			18時
19時			19時
20時			20時
21時			21時
22時			22時
23時			23時

記入日（ 年 月 日）

1週間の過ごし方							
	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後							

1年間の予定など		1年間の予定や行事を記入しましょう！！
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

健康・医療

●緊急時の注意点 （例） 喘息などの重度の持病がある場合の注意点、ケガをしたときに医師へどのように本人のことを伝えるか、本人にどのように治療のことを伝えるかなど

●てんかんについて （例） てんかんの発作の有無、具体的な発作の状況、それに対する対処など

てんかん発作の有無 : なし ・ あり

発作が起きたときの症状

発作が起きたときの対応

その他

●その他注意してほしいこと、支援してほしいこと

●睡眠のパターンについて （例） 睡眠時間、夜起きるなど

起きる時間：決まっていない・決まっている（ 時頃）

寝る時間：決まっていない・決まっている（ 時頃）

睡眠状況：安定してぐっすり眠れる・不眠がある（時々・よくある）・昼夜逆転がある

その他

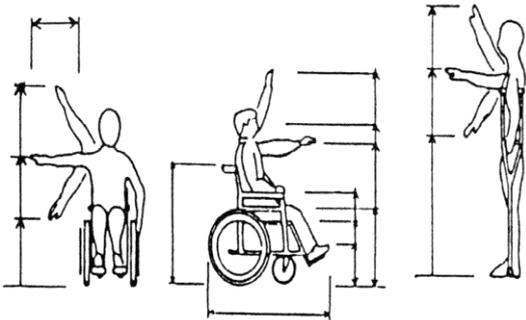
●二次障害の有無について （例） うつの症状、フラッシュバックなど

健康・医療

導入時の年齢 (歳) 交付自治体 ()

記入日 (年 月 日)

補装具等 (※可能であればリハビリの先生等に記入してもらいたいでしょう。)

記入者	所属		職名	
	氏名		連絡先	
機器等の種類		補装具 ・ 日常生活用具 ・ 自助具 ・ その他 ()		
機器等の名称				
納入者	所属		職名	
	氏名		連絡先	
導入の目的				
導入までの経過				
	申請日	年 月 日	判定日	年 月 日
	交付日	年 月 日	耐用年数	年
操作方法・留意事項				
寸法等				※支援・補助内容等を記載 必要に応じて、機器等の写真を貼付

記入日（ 年 月 日）

その他（ページ内に書ききれない場合に利用してください）

各項目で書ききれなかったこと、その他記録しておきたいこと、お世話になった人や感謝している人のこと等について記入してみましょう。

将来の希望

卒業後や将来に向けて準備していること、考えていることを記入しましょう。

記入時年齢 歳 記入日（ 年 月 日）

生活の場	自宅 ・ グループホーム ・ 入所施設 ・ ひとり暮らし その他（ ）
例) ・ 親が元気なうちは自宅で生活する。週末はサービスを利用して余暇を過ごす。 ・ 仲間とグループホームで生活し、週末は親の家で過ごす。グループホームから通勤する。	取 組 例) ・ 低学年からサービスの利用を始め、少しずつ慣れさせる。 ・ 地域のグループホームの情報を集める。

仕 事	企業就労 ・ 福祉就労 その他（ ）
例) ・ フルタイムで働き、納税者になる。 ・ 自分のペースで働き、働く人になる。	取 組 例) ・ 家での手伝い。 ・ 挨拶の習慣をつける

余 暇 （趣味・特技・習い事）	
例) ・ 得意な絵を続け、入選を目指す。 ・ スイミングで体力づくりをし、大会に出る。 ・ ひとりで過ごすことができる。	取 組 例) ・ スイミングスクールに通う。 ・ 地域の子供会行事に参加する。 ・ 好きな本やDVDを選ぶ。

進路先への引継ぎ事項

小学部・小学校へ，中学部・中学校へ，高等部・高等学校へ，
卒業後の進路先（専門学校・事業所・福祉施設など）への引き継ぎ事項を記入します。

記入者氏名（ ） 記入日（ 年 月 日）

現在通っている ところ		進学・進路先名	
氏名		保護者名	

※在園・在学中実施した内容，進学先・進路先での必要な支援や配慮してほしいこと等を記入しましょう。

例) 具体的なものを提示しながら説明をして欲しい。言葉だけでは不十分。など

※進級・進学に向けて，準備していること，考えていること，不安に思っていることを記入しましょう。

例) 自分が出来ないこと，難しい事を言われるとパニックになりやすい。など

必要に応じてこの用紙をコピーして追加しましょう

訓練・体験・実習の記録

職業訓練，職場体験（実習）などの履歴を記入しましょう。

体験・訓練の期間 年 月 ～ 年 月 日間	実習先
体験した学年 年生	TEL 担当者（ ）
現地までの移動手段	
仕事や作業の内容・特記事項 （例）お菓子の袋詰めなど	
支援機関： 担当者（ ）	

体験・訓練の期間 年 月 ～ 年 月 日間	実習先
体験した学年 年生	TEL 担当者（ ）
現地までの移動手段	
仕事や作業の内容・特記事項	
支援機関： 担当者（ ）	

体験・訓練の期間 年 月 ～ 年 月 日間	実習先
体験した学年 年生	TEL 担当者（ ）
現地までの移動手段	
仕事や作業の内容・特記事項	
支援機関： 担当者（ ）	

体験・訓練の期間 年 月 ～ 年 月 日間	実習先
体験した学年 年生	TEL 担当者（ ）
現地までの移動手段	
仕事や作業の内容・特記事項	
支援機関： 担当者（ ）	

余暇活動や習い事の記録

学校、塾、放課後児童クラブ、サークル活動など、習い事の経験などを記録しておきましょう。

教室等名称	内容
	参加状況など
利用期間・学年 年生 ～ 年生 年 月～ 年 月	

教室等名称	内容
	参加状況など
利用期間・学年 年生 ～ 年生 年 月～ 年 月	

教室等名称	内容
	参加状況など
利用期間・学年 年生 ～ 年生 年 月～ 年 月	

教室等名称	内容
	参加状況など
利用期間・学年 年生 ～ 年生 年 月～ 年 月	

教室等名称	内容
	参加状況など
利用期間・学年 年生 ～ 年生 年 月～ 年 月	

記入日（ 年 月 日）

資格・免許の取得、表彰・顕彰について	
取得年月日	内 容
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

社会体験活動歴	
参加した行事・ボランティア活動などを記入しましょう	
活動日	参加した行事・活動内容
年 月～ 年 月	(例) 地域の資源回収活動、清掃活動など
年 月～ 年 月	

記入日（ 年 月 日）

相談・支援の記録

基本的には保護者・本人が記入しますが、できる範囲で関係機関の方へも協力をお願いしましょう。

相談年月日	年 月 日 ~ 年 月 日		
相談機関名			
住所・電話	TEL		
担当者名		記入者名	
相談内容			
支援内容			
その他	※支援を受けた結果や感想など		
継続	・ 次回相談日 年 月 日（担当者 ）		
または	・ 相談終了		
終了	・ その他		
※必要に応じて、この用紙をコピーして追加しましょう。			

対話の始まり（夢の語り合い）のページ

記入日： 年 月 日

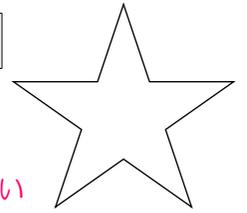
子どもの夢や夢が実現した時の
気持ちを語り合いメモする

保護者（家族）と学校の教師・支援者などが
気軽に本人の夢（めざしたい姿）と今を話し合い、
記入しながら、同じ目線で子どもの夢の実現を
めざすためのシートです。

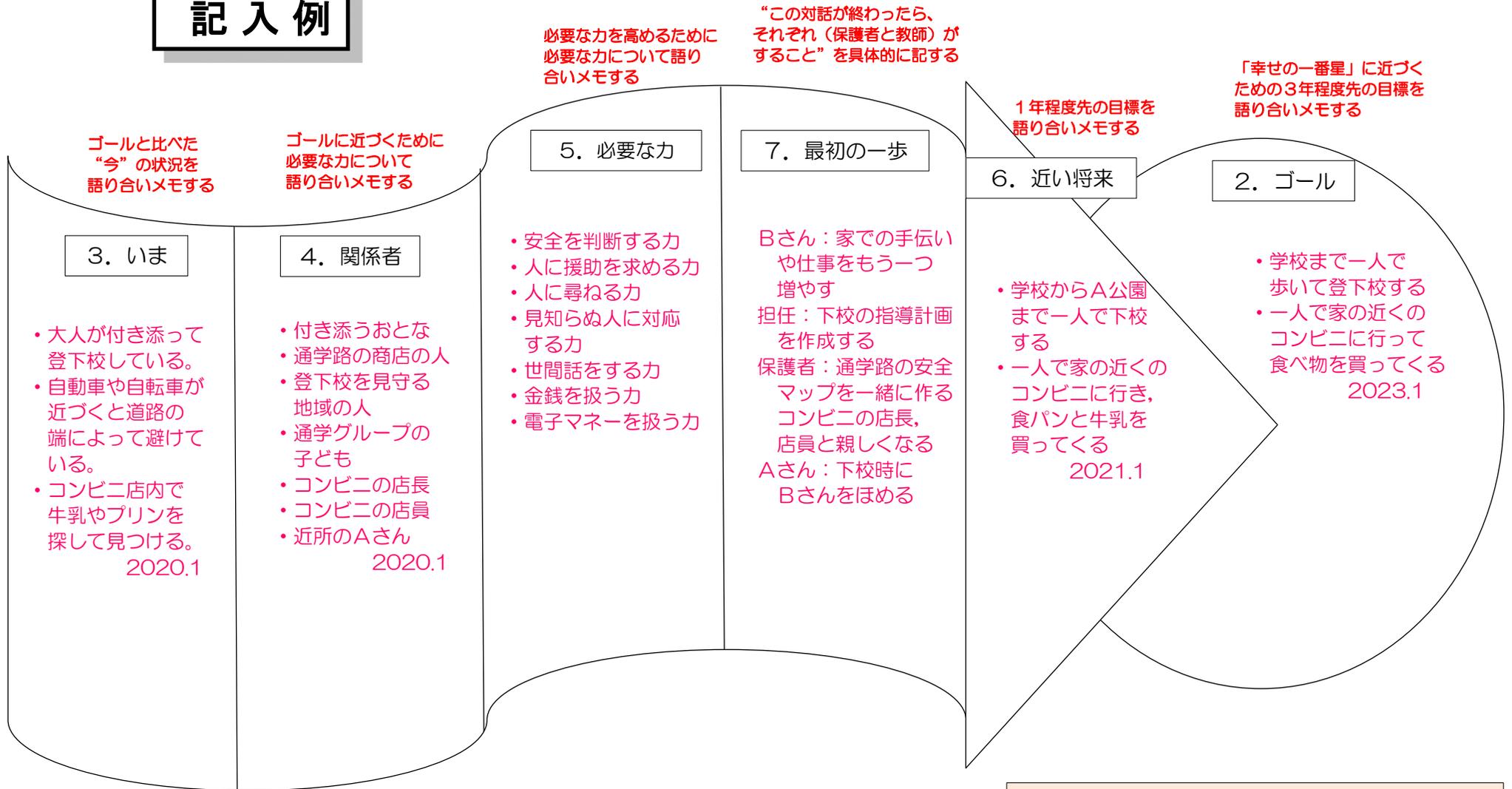
もっと美味しいパン
を作りたいと思う

1. 幸せの一番星

パン屋に勤めて、
美味しいパンを作る
美味しいと言われてうれしい



記入例



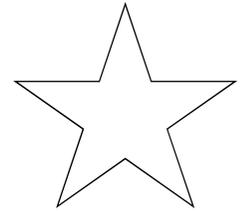
参考：独立行政法人国立特殊教育総合研究所（2002）知的障害養護学校における個別の指導計画とその実際に関する研究

※担任（支援者）が変わったら一緒に作成しましょう

対話の始まり（夢の語り合い）のページ

記入日： 年 月 日

1. 幸せの一番星



保護者（家族）と学校の教師・支援者などが
気軽に本人の夢（めざしたい姿）と今を話し合い、
記入しながら、同じ目線で子どもの夢の実現を
めざすためのシートです。

3. いま

4. 関係者

5. 必要な力

7. 最初的一步

6. 近い将来

2. ゴール

参考：独立行政法人国立特殊教育総合研究所（2002）知的障害養護学校
における個別の指導計画とその実際に関する研究

※担任（支援者）が変わったら一緒に作成しましょう